

## 会務報告

## お知らせ

### 日本作業行動学会第21回学術集会のお知らせ

**日時**：平成23年9月17日(土)午後12時45分～  
18日(日)午後4時30分

**場所**：首都大学東京荒川キャンパス  
(〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10)

**大会長**：山田 孝 先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科)

**大会テーマ**：人間作業モデルの魅力  
～キールホフナー教授を偲んで～

**特別講演**：人間作業モデルの魅力～作業療法の理論として～

山田 孝 先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科)

**参加費**：事前申込；会員3,000円，非会員4,000円  
当日申込；会員4,000円，非会員5,000円，学生1,000円

**ナイトセミナー参加費**：3,000円(中央食堂)

### プログラム

#### 一日目(9月17日)

12時00分～12時45分 **受付**

12時45分～13時00分 **開会式(A会場)**

挨拶 大会長 山田 孝 先生

13時00分～14時20分 **特別講演(A会場)**

司会 秋田大学 石井 良和 先生

「人間作業モデルの魅力～作業療法の理論として～」

首都大学東京大学院人間健康科学研究科

山田 孝 先生

14時30分～15時15分 **一般演題1**

**セッション1(A会場)**

座長 鹿児島大学 岩瀬 義昭 先生

演題1 作業療法における「手工芸に対する自己効力評価」の作成に関する研究～虚弱高齢者得点群の得点分布と標準得点化～

神奈川県立保健福祉大学 鎌田 樹寛 ほか  
演題2 認知症高齢者の絵カ～ド評価法を用いた2事例の検討～認知症高齢者に対するクライアント中心の考え方と作業に焦点を当てた作業療法実践を目指して～

大阪保健医療大学リハビリテーション学科・首都大学東京大学院人間健康科学研究科博士後期課程 井口 知也 ほか

演題3 自発性を引き出す支援へ向けての取り組み～「意志質問紙」を用いて～

医療法人広翔会この脳神経外科クリニック 島崎 佳子

15時30分～16時00分 **ディスカッション1(学生食堂)**

「作業行動の臨床的課題」

進行 首都大学東京 石橋 裕 先生  
メンター\*の先生たちと各テーブルでテーマについて自由に意見交換できるよう準備いたしました。是非、この機会を利用して、臨床の悩みや困っていること、作業療法について想うことを共有して頂ければと思います。

※メンター(mentor)：良き指導者、助言者。

16時15分～17時00分

**特別プログラム1(学生食堂)**

「人間作業モデルから学んだこと」

司会 首都大学東京 小林 法一 先生

発表者

神奈川県立保健福祉大学 鎌田 樹寛 先生

昭和大学 鈴木 憲雄 先生

山形県立保健医療大学 竹原 敦 先生

17時10分～18時10分

**日本作業行動学会総会(A会場)**

18時15分～19時40分 ナイトセミナー

**特別プログラム2(学生食堂)**

「人間作業モデルから学んだこと」

司会 大阪保健医療大学 井口 知也 先生

発表者

神奈川県立保健福祉大学 笹田 哲 先生

麻生リハビリテーション大学校

青山 克実 先生

関西学研医療福祉学院 南 征吾 先生

北都保健福祉専門学校 本家 寿洋 先生

## 二日目(9月18日)

9時30分～10時 受付

10時00分～12時00分 シンポジウム(A会場)

「キールホフナー教授から学んだこと」

司会 愛知医療学院短期大学 原 和子 先生

パネリスト

神奈川県立保健福祉大学 長谷 龍太郎 先生

北海道大学 村田 和香 先生

秋田大学 石井 良和 先生

浜松大学 野藤 弘幸 先生

13時00分～13時40分 公開事例検討会(A会場)

座長 昭和大学 鈴木 憲雄 先生

演題Ⅰ 101歳の自叙伝作り

介護老人保健施設あいぜん苑 佐藤 晃太郎

演題Ⅱ 脳卒中を経験し、自殺したいと語った男性

クライアントに対する回復期病棟での作業療法

茅ヶ崎新北稜病院・首都大学東京大学院人間

健康科学研究科博士前期課程 宗形 智成

13時50分～14時50分 一般演題2

セッションⅡ(演題4～7 会場:A会場)

座長 神奈川県立保健福祉大学 鎌田 樹寛先生

演題4 わが国の医療領域における退職に関する取り組み～2000年から2011年の文献レビューより～

関西学研医療福祉学院作業療法学科・首都大学東京大学院人間健康科学研究科博士前期課程 河津 拓 ほか

演題5 クライアントの健康関連QOLおよび生活満足度に影響を与える回復期リハビリテーション病棟に関する文献レビュー

茅ヶ崎新北稜病院・首都大学東京大学院人間健康科学研究科博士前期課程 宗形 智成 ほか

演題6 脳血管障害作業療法のEBOTと作業療法の理論的枠組みについて

日本医療科学大学保健医療学部リハビリテーション学科・首都大学東京大学院人間健康科学研究科博士前期課程 荻山泰地 ほか

演題7 精神障害者が抱く希望の効果や要因に関する文献レビュー

国立精神神経医療研究センター病院・首都大学東京大学院人間健康科学研究科博士

前期課程 富澤 涼子 ほか

セッションⅢ(演題8～11 会場:B会場)

座長 山形県立保健医療大学 竹原 敦 先生

演題8 脳卒中者と担当作業療法士の作業療法の意味づけに関する対比研究

(医) 康心会ふれあい町田ホスピタル・首都大学東京大学院人間健康科学研究科 小林幸治 ほか

演題9 地域生活する男性脳卒中障害高齢者の作業適応と人間関係の変容プロセス

東京工科大学医療保健学部作業療法学科 西野由希子 他

演題10 主介護者である妻をクライアントとして関わった一事例

IMSグループ春日部ロイヤル訪問看護ステーション 松澤良平

演題11 病気療養中の息子と同居する要支援女性高齢者の生活支援～作業的ナラティブを用いた面接事例～

(有) 多摩たんぼぼ介護センターデイサービスセンターたんぼぼ・首都大学東京大学院人間健康科学研究科博士前期課程 猪股英輔

15時00分～15時30分 ディスカッション2(学生食堂) 「作業行動の臨床的展望」

進行 首都大学東京 石橋 裕 先生

15時35分～16時20分 一般演題3

セッションⅣ(演題12～14 会場:A会場)

座長 (医) 康心会ふれあい町田ホスピタル

小林 幸治 先生

演題12 家に帰ってもできると自信を持って退院した不安の強い脳腫瘍手術後の女性患者

社会福祉法人仁生会 江戸川病院 内田健

演題13 作業の目的が変化していったがん患者の事例～興味ある作業を用いる中で～

滋賀県立成人病センター 松本美穂子 ほか

演題14 革細工を導入したことで意志と習慣が再構築された高齢機能障害者の事例

森山メモリアル病院 矢野貴大 ほか

セッションⅤ(演題15～16 会場:B会場)

座長 介護老人保健施設回生の里

篠原 和也 先生

演題15 意志サブシステムへの働きかけにより余暇的活動の再開に至ったある一例

社会医療法人仁厚会 藤井政雄記念病院 梅津清司郎

演題 16 頭部外傷により自発性が低下した事例へのクライアント中心の実践～人間作業モデルとその評価法を用いたアプローチ～

常葉リハビリテーション病院 鹿田将隆

ほか

16時25分 閉会

**関連プログラム:** 人間作業モデル一日講習会を9月19日(月・祝)に首都大学東京荒川キャンパスで開催します。学術集会参加者で学会員の方は、2,000円で参加できます。

**学術集会ホ～ムペ～ジ:** 日本作業行動学会のホームページにありますので、ご覧ください。

### 人間作業モデル講習会が開催されました

#### <北海道・旭川>

7月10日(日)に、1日基礎講習会を北都保健福祉専門学校(旭川市旭神町3-4)で9時から17時まで開催されました。参加者は会員4名、非会員29名でした。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円でした。

#### <北陸・金沢>

7月31日(日)に、1日基礎講習会を石川・金沢脳神経外科病院(野々市町郷町262-2)で開催しました。参加者は非会員27名、学生1名でした。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円でした。

### 北海道作業療法士会道南支部との共催です

#### <北海道・函館>

8月6日(土)14時～7日(日)13時に、函館市立病院で一日講習会が開催されました。参加者は50名でした。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)でした。

### 人間作業モデル事例検討会が開催されました

7月3日(日)に、**第3回四国**が、四国中央医療福祉総合学院(四国中央市中之庄町1681-10)で、10時から17時まで開催しました。参加者は44名でした。午前は事例発表があり、発表者は南庄一郎先生(国

立病院機構鳥取医療センター・グループホーム入所を目指して～薬物性精神障害者へのかかわり～)、最相伸彦先生(倉敷平成病院。意欲低下を呈した依存傾向を認めた中年男性の意志と環境への介入)、谷山玲子先生(三宅リハ病院。機能面に対する固執傾向が見られた方への介入報告)の3名でした。午後は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)による人間作業モデルスクリーニングツールの講演がありました。世話人は小林理英先生(国立病院機構善通寺病院)、谷渕加奈子先生(専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ)で、参加費は1,500円、学生500円でした。

7月9日(土)に、**第4回旭川**を、北都保健福祉専門学校(旭川市旭神町3-4)で2時から6時まで開催しました。参加者は18名でした。事例発表者は小林昭典先生(北海道療育園。人に認められたいという想いが強い広汎性発達障害児の自己評価について)と小島貴人先生(北見赤十字病院。統合失調症に脳挫傷を呈した寝たきりの症例に対し意志・習慣化、遂行、環境を包括的に評価し介入したことで、病棟における人的環境のかかわりが変化した1症例)でした。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、アメリカでの第2回MOHO国際学会(Institute)の様子の講演がありました。世話人は本家寿洋先生(北都保健福祉専門学校)で、参加費は1,500円でした。

7月17日(日)に、**第19回九州**を、麻生リハビリテーション大学(福岡市博多区東比恵3-2-1)で、10時から17時まで開催しました。参加者は43名でした。午前から午後にかけては事例発表があり、発表者は安藤栄二先生(相生会宮田病院。頭部外傷により重度高次脳機能障害を示し患者を担当して)、岩永拓也先生(水の木会萩病院。再入院してしまった症例に対するアプローチ)、小嶺一寿先生(社会福祉法人ゆうかり会。僕、1人で買い物できたよ～自立生活に向けて自覚を持ち始めた事例～)の3名でした。午後は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)による意志質問紙(VQ)の実施法に関する講義がありました。世話人は青山克美、近藤昭彦両先生(麻生リハビリテーション大学)で、参加費は1,500円でした。

7月23日(土)に、**第53回東京(東部地区)**を、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久7-2-10)で開催する予定でしたが、広報活動の不備により、中止になりました。

7月30日(土)に、**第53回東京(西部地区)**を、専門学校社会医学技術学院(小金井市中町 2-22-32)で、午後2時から6時まで開催しました。参加者は15名でした。2時から山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)による意志質問紙(VQ)の実施法に関する講義がありました。4時から事例発表があり、発表者は内田健先生(社会福祉法人仁生会江戸川病院。演題名『家に帰ってもできる』と自信を持って退院した不安の強い脳腫瘍手術後の女性患者)の1例でした。参加者は16名でした。世話人は鈴木憲雄先生(昭和大学保健医療学部)と榎木真実先生(専門学校社会医学技術学院)でしたので、参加費は1,500円でした。

### 人間作業モデル講習会が開催されます

以下のように、人間作業モデル講習会を開催します。参加希望の方はホームページから学会事務局に申し込んで下さい。受講料は会員9,000円、非会員11,000円です。なお、これまでに受講されたことのある方はリピータ割引として3,000円引きで受講できます。

また、人間作業モデル1日講習会も開催されます。1日講習会は基礎として評価法編とアドバンスとして治療編があります。通常は基礎・評価法編からアドバンス・治療編の順序で受講することをおすすめしますが、そうでなくとも受講できます。受講料は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。なお、値引きをしましたので、リピータ割引はなくなりました。

人間作業モデル講習会を自分の地域で開催を希望する方は、研究会事務局までお知らせ下さい。事務局ではお申し出のあった方と関係者と協議して、講習会の開催を前向きに検討したいと思います。事務局のメールアドレスはobjim@jsrob.orgです。

### <東海・名古屋>

8月20日(土)～21日(日)に、名古屋大学医学部保健学科(名古屋市東区大幸南 1-1-20)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)と石井良和先生(秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻教授)の予定です。参加費は両日参加の場合、学会会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円です。

### <中国・岡山>

8月28日(日)に、人間作業モデル1日評価法講習会を岡山・地方独立行政法人岡山県精神科医療センター(旧・県立岡山病院・岡山市北区鹿田本町 3-16)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)の予定です。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。

### <関東・東京>

9月19日(月・祝)に、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久 7-2-10)で、人間作業モデル1日評価法講習会を開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)の予定です。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。なお、第21回日本作業行動学会学術集会の参加者で学会員の方は、2,000円で参加できます。

### <九州・福岡>

9月25日(日)に、人間作業モデル1日評価法講習会を福岡県大牟田市の帝京大学福岡医療技術学部(大牟田市新勝立町 4-3-124)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)の予定です。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。

### <関西・神戸>

10月22日(土)から23日(日)に、神戸市の兵庫医療大学リハビリテーション学部(神戸市中央区港島 1-3-6)で人間作業モデル講習会を開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)と石井良和先生(秋田大学大学院)の予定です。学会会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円です。

### <九州・宮崎>

10月30日(日)に、宮崎市の宮崎リハビリテーション学院(宮崎市小松 1119-8)で人間作業モデル1日評価法講習会を開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)の予定です。参加費は会員5,000円、非会員7,000円、学生4,500円です。

### <関東・東京>

11月26日(土)から27日(日)に、専門学校社会医学技術学院で人間作業モデル講習会を開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)と鈴木憲雄先生(昭和大学保健医療学部)の予定です。参加費は学会会員9,000円、非会員11,000円、学生4,500円、リピータは会員6,000円、非会員8,000円です。

### <東海・浜松>

12月3日(土)から4日(日)に、人間作業モデル講習会を浜松市立リハビリテーション病院(浜松市中区和合町 1327-1)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)と野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)の予定です。参加費は学会会員 9,000 円、非会員 11,000 円、学生 4,500 円、リピータは会員 6,000 円、非会員 8,000 円です。

### <関東・東京>

12月25日(日)に、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久 7-2-10)で、人間作業モデル一日治療法講習会を開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)の予定です。参加費は会員 5,000 円、非会員 7,000 円、学生 4,500 円です。

### 人間作業モデル事例検討会が開催されます

8月14日(日)に、**第24回近畿**を、関西学研医療福祉学院(奈良市右京 1-1-5)で、13時から16時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)です。世話人大松慶子先生(関西学研医療福祉学院)です。参加費は1,000円(学生 500円)です。午前10時から12時まではコミュニケーションと交流技能評価(ACIS)に関する講義があります。参加費はいずれも 1,000円(学生 500円)です。

9月4日(日)に、**第22回神奈川**を、神奈川県立保健福祉大学(横須賀市平成町 1-10-1)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、コミュニケーションと交流技能評価(ACIS)に関する講義があります。世話人は笹田哲先生と鎌田樹寛先生(神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科)です。参加費は1,500円です。

9月11日(日)に、**第12回浜松**を、浜松市立リハビリテーション病院(浜松市和合町 1327-1)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、作業に関する自己評価(OSA-II)に関する講義があります。世話人は野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)です。参加費は3,000円(学生 1,500円)です。

10月1日(土)に、**第20回九州**を、麻生リハビリテーション大学(福岡市博多区東比恵 3-2-1)で、午

後2時から7時まで開催します。山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)によるコミュニケーションと交流技能評価(ACIS)の講義があります。世話人は青山克美、近藤昭彦、安部剛敏の先生(麻生リハビリテーション大学)で、参加費は1,500円の予定です。

10月2日(日)に、**第1回鹿児島**を、鹿児島大学医学部保健学科(鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1)で午後1時から6時まで開催します。山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)による作業に関する自己評価(OSA)の講義があります。世話人は岩瀬義昭先生(鹿児島大学医学部保健学科)で、参加費は1,500円の予定です。

10月9日(日)に、**第54回東京(東部地区)**を、首都大学東京荒川キャンパス(荒川区東尾久 7-2-10)で開催する予定です。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、評価法の講習会があります。世話人は小林法一先生と川又寛徳先生(首都大学東京健康福祉学部)です。参加費は1,500円の予定です。

11月6日(日)に、**第4回四国**が、香川県の四国医療専門学校(宇多津町浜五番丁 63-4)で、10時から17時まで開催する予定です。山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)による評価法の講義があります。世話人は小林理英先生(国立病院機構善通寺病院)、谷渕加奈子先生(専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ)、松浦寿美子先生(四国中央医療福祉総合学院)で、参加費は1,500円、学生 500円の予定です。

12月11日(日)に、**第55回東京(西部地区)**を、専門学校社会医学技術学院(小金井市中町 2-22-32)で、午後1時から5時の予定で開催します。参加費は1,500円の予定です。また、午前10時から、山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)による評価法の実施に関する講義があります。参加費は3,000円です。世話人は鈴木憲雄先生(昭和大学保健医療学部)と樗木真実先生(専門学校社会医学技術学院)です。

12月18日(日)に、**第25回近畿**を、関西学研医療福祉学院(奈良市右京 1-1-5)で、13時から16時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京大学院人間健康科学研究科教授)で、評価法に関する講義があります。世話人大松慶子先生(関西学研医療福祉学院)です。参加費は1,000円(学生 500円)です。午前10時から12時まではMOHOに関する講義があり、

参加費はいずれも 1,000 円(学生 500 円)です。

このほかに、北海道作業行動研究会で MOHO 事例検討会を行っています。世話人・講師は村田和香先生(北海道大学大学院保健科学研究院教授)で、参加費は 500 円です。参加者は研究会に入会する必要

があります(入会金 1,000 円)。日程はホームページをご覧ください。

研修会情報は研究会のホームページでご覧いただき、詳細な情報を得て、ご参加下さい。